

民間企業等職務経験者職員による体験談(平成31年度採用)

職種	行政
所属	県民生活部 私学・科学振興課

Q1 現在、携わっている仕事内容を教えてください。

A

私立学校への助成業務、外国語指導助手の派遣業務、経済的理由により、私立高等学校等に就学することが困難な生徒の教育費負担の軽減を図るための支援等を担当しています。

Q2 山梨県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。

A

山梨に移住することになり、これから自分が生活していく場所をより良い環境にしていきたいと思ったため、また、多様な業務に携われる点が面白いと感じたためです。

Q3 県職員になる前に抱いていた県職員・県庁のイメージと違ったことはありませんか。

A

業務が多岐にわたっており、県民と直接やりとりをする業務が想像していたよりも多かったです。

Q4 県職員になる前に抱えていた不安は何ですか。また、仕事をする中でその不安はどうなりましたか。

A

民間企業での社会人経験はあったものの、全く別の業種・職種であったため、電話対応や県民対応等をこなせるか心配でしたが、新任職員研修が充実しており、基本的なことから教えて頂けたので助かりました。

Q5 これまで業務に従事したなかで、最も大変だったことは何ですか。

A

外国語指導助手の赴任に関する業務。まさか英語を使う業務を担当すると思っていなかったため、コミュニケーションを取るのが大変でした。通信教育の助成制度があるので、それを利用して英会話を勉強しました。

民間企業等職務経験者職員による体験談(平成31年度採用)

Q6 職場の雰囲気はどうか。また、上司や先輩はどんな方ですか。

A

相談しやすい雰囲気、質問をすると丁寧に教えてくれる方が多いです。

Q7 県職員になってよかったと思うこと(うれしかったこと)は何ですか。

A

休暇、福利厚生等の制度が充実していることです。前職よりも年次有給休暇が取りやすい雰囲気があります。

Q8 民間企業との違いを感じた時はどんな時ですか。

A

1～3年で人事異動がある点です。まだ入庁2年目なので異動は経験していませんが、先輩方の話を聞くと皆さん幅広い分野の業務を経験されています。また、4月に一斉に異動になるため、通常業務と引継で忙しい時期になりますが、皆さん前任者に相談しながら滞りなく進めています。

Q9 民間企業での経験が役に立ったできごとを教えてください。

A

前職では全く別の業種・職種だったため、具体的な知識や経験が活かせることは少ないです。県庁での仕事は締切が短かったり、複数の業務を同時期に担当することが多いので、いかに業務を効率化するか、計画通りに実行するか、といったことは民間企業で得たノウハウが役に立っていると感じます。

Q10 受験生へのメッセージ(受験対策等)をお願いします。

A

働きながらの転職活動でなかなか勉強時間がとれなかったため、試験対策は苦手な分野に絞って勉強をしていました。民間企業等職務経験者採用試験は教養試験の負担が少ないので、効率的にやれば働きながらでも十分チャンスがあると思います。

